



平成28年3月1日現在

総人口	12,604人
男	6,127人
女	6,477人
世帯数	5,110世帯

参加者の感想

3月5日(土)、松本市音楽文化ホールにおいて『人権を考える住民の集い 島内・島立ふれ愛コンサート』が開催されました。

今回は、インフルエンザに

よる学級閉鎖で、島内小学校合唱部の発表がなくなるとても残念でしたが、島立小学校ブラスバンド部の演奏も素晴らしかったです。

人権を考える住民の集い 島内・島立 ふれ愛コンサート

NPO現代座による『ここを つなぐ劇場』―ハンセン療養所に生きて―うたと語り「遠い空の下の故郷」では、今まで90カ

所以上でハンセン病の元患者さんの人生を語ってきた、軽井沢生まれの木下美智子さんと、現在は島内町町会の公民館長を務めている現代座創立メンバーの今村純二さんのアコーディオン演奏で語られました。

♡ハンセン病で苦しんだかたがたのお話し、もつと多くの人に知ってもらいたいと思いをしました。すばらしい活動をもつと続けてください。世界中のより多くの人に伝えてください。「ふるさと」が歌えないくらい心打たれました。(40代 女性)

♡パイプオルガンの演奏がすばらしいものでした。また機会があれば再度聞きたいと思えます。ハンセン病の間違った差別が良くわかりました。差別をなくすことが大切です。(69才 男性)

♡ブラスバンドがよかったです。とても楽しいコンサートでしたわ。「ふれ愛コンサート」とてもいい名前ですわね。またようかしら。(10代)

♡毎年楽しみに会場に足を運んでいます。今回は三部構成



アコーディオン 今村純二さん

語り 木下美智子さん

でとても良かったと思います。(50代 女性)

♡長野に移り住んで4つの季節が巡りました。故郷と呼べる土地が一つ増えました。都会では希薄な人権意識高揚活動も、こちらでは継続的に続けられている模様で、背景の根深さを感じずにはいられませんでした。(55才 男性)

♡島立小バンドは春を迎える暖かな音色でした。原田さんのパイプオルガン演奏の荘厳な音色は身体の奥まで響きわたりました。お話しは切実で実感のこもった話術で身震いするほどの迫力でした。ありがとうございました。(80才 男性)

♡パイプオルガンの仕組み等初めて聞き感動し、音色に聞き入りました。木下さんの語



り部と今村さんの音楽が身にしみ、母のつらい思い、自身

恒例行事 第31回松本市公民館研究会 「子どもまつり」を発売

島内子ども会
育成会

○発表は緊張したけど、他の学校や地区の話も聞くことができ、よい体験ができました。

(島内小6年 市川 隆斗)

○島内カルタを作り替えることに実行委員長として関わることができ、その上、他の地域の方々にも知っていただくことが出来たので大変良かったです。発表の場を与えて下さった関係者の方々にお礼を申し上げます。

(島内小6年 胡桃澤実彩)

○3人で協力して良い発表ができてよかったです。

(島内小6年 瀧上 遥)



の葛藤が良く伝わって涙がとまりませんでした。感動、感動でした。国民に聞いてもらいたいと思います。(75才 女性)

第6回 島内農業文庫講座 カメラ担いで世界を旅する

世界各国を旅しながら、美しい風景や植物を撮影している竹内由房さん（80才・平瀬川西）が写真の魅力について語りました。



KII (ケーツー・8,611m エベレストに次いで世界第二位)
参考・イスラマバード (パキスタン) から空路スカルドーへさらにアスコレへ車で一日。そしてバルトロ氷河を徒歩で60km・コンコルドひろばにてようやくKIIと対面。

親子体操

3月9日、島内公民館とひよこランド共催の子育て講座「親子体操」を行いました。雨天にも関わらず、大勢の参加者がありました。



児童・高齢者交流会

松島町会

恒例のもちつき会に76人が参加し白と杵でのもちつきを体験しました。つきたてのもちをあんこやきなこで味わいました。



松本市の認知症施策について

シリーズの最後に「松本市の認知症施策」について紹介いたします。国の認知症施策に対応して、松本市も認知症施策に力を入れています。

認知症思いやりパスブック

認知症の症状に合わせて、いつ、どのような支援を受けられることができるかをまとめた冊子です。

家族や知り合いの方が、もしかしたら認知症かも？と思われたり、医師から認知症と診断されたけれどどうしたらいいかわからないといった時に、包括支援センターに来ていただければ、説明をしながらこの冊子を差しあげます。

物忘れ相談会

各地区ごとに物忘れでちよつと心配という方のための相談会です。島内地区も28年度から開催を予定しています。福祉ひろばだよりや回覧板などでお知らせする予定です。

島内高齢者見守り隊 ネットワーク

島内地区限定のものですが、認知症で道に迷い自宅に帰れない方のために、あらかじめその方の情報を最寄りの場所

に知らせておき、見守りをお願いして、早く保護できるようにする仕組みです。

現在、修正を加えながら作成中ですので、できあがりしましたらお知らせします。

最終回

思いやり安心カルテ

これは認知症で徘徊してしまい、搜索をお願いする時に、あらかじめ家族やケアマネジャーを中心にその方の情報カルテを作成しておき、いざという時に警察や市役所などと連携して、迅速な搜索のために使用するものです。28年度より運用を開始する予定です。

「誰もが安心して住みなれた地域で最後まで暮らし続けたい」そんな想いを大事にしていきたいと思えます。

認知症や高齢者の相談は、河西部地域包括支援センター（☎48-6361）へ、連絡のうえおかけください。

島内公民館キタテ

「ピアッサ」の予定

山岳写真展
4月11日～4月28日

五月人形展
5月10日～6月2日

